



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ナック

コード番号 9788 URL <http://www.nacoo.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺岡 豊彦

問合せ先責任者 (役職名) IR・広報室 室長 (氏名) 小林 貴之

四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日

配当支払開始予定日

TEL 03-3346-2111

平成24年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	32,785	19.6	1,307	90.2	1,311	98.8	401	39.9
24年3月期第2四半期	27,407	11.7	687	4.2	659	1.5	287	△8.1

(注)包括利益 25年3月期第2四半期 420百万円 (57.7%) 24年3月期第2四半期 267百万円 (△11.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	48.77	—
24年3月期第2四半期	36.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
25年3月期第2四半期	27,465		11,750		42.8	
24年3月期	25,817		11,489		44.5	

(参考)自己資本 25年3月期第2四半期 11,750百万円 24年3月期 11,489百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	25.00	—	27.00	52.00
25年3月期	—	30.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	73,000	13.5	4,400	26.6	4,350	25.9	2,100	23.5	255.61

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	9,359,625 株	24年3月期	9,359,625 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	1,109,661 株	24年3月期	1,144,101 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	8,234,639 株	24年3月期2Q	7,819,288 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9
(7) 重要な後発事象	9
4. 補足情報	10
受注の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年9月30日）における日本企業は、隣国との領土問題、新興国におけるストライキや暴動など、近年になく事業活動において極めて重大なカントリーリスクにさらされました。一方、国内経済においては、一部電力会社による電気料金の値上げ、消費税増税関連法案の成立等により、消費動向に不透明感を抱えたまま推移しました。このような中、当社グループでは、引き続き営業拠点の積極的な出店を推進し、事業活動に邁進しました。その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高32,785百万円（前年同期比19.6%増）、営業利益1,307百万円（同90.2%増）、経常利益1,311百万円（同98.8%増）、四半期純利益401百万円（同39.9%増）となりました。

※ 住宅事業は、物件の完成引渡し下期に偏る傾向があり、第2四半期連結累計期間の売上及び利益は、相対的にやや低くなるという季節的要因があります。

セグメント別の業績は次の通りであります。

なお、各セグメントの営業損益のほかに、各セグメントに帰属しない全社費用等523百万円があります。

<クリクラ事業>

直営部門では、顧客数増加に伴い、前年同期比10.8%増と2ケタの売上成長となりましたが、顧客数増加に対する人員の補充が遅れ、夏場の需要増に対する販売機会の逸失とウォーターサーバーのメンテナンス対応の遅延を招き、計画からは下回りました。

一方、加盟店部門でも、当期の加盟店による販促活動は手元在庫で賄われたため、加盟店に対するウォーターサーバー売上も計画を下回っておりますが、事業全体での製品水製造本数は、当期累計で880万本となり、前年同期比15.4%増と伸長しております。

以上の結果、売上高6,937百万円（前年同期比3.0%増）、営業利益353百万円（同0.2%増）となりました。

また、当期において東海地区では初めての自社プラントとなる、名古屋プラントを開設しております。

<レンタル事業>

成熟市場であるレンタル事業においては、成長戦略としてのM&Aを積極的に手掛けてまいりました。前期末にはビルメンテナンス会社の株式会社アーネストをM&Aし、また、当期においては、株式会社ダスキンより直営店のダスキン行田支店の営業権を譲受けております。その後、当社事業との融合により当期の業績に順調に寄与し、売上高5,907百万円（前年同期比9.0%増）、営業利益712百万円（同8.3%増）と健闘しました。

害虫駆除関連商品も管理職のプレイングマネージャー化による販促効果もあり、順調に増収増益を確保しました。

<建築コンサルティング事業>

住宅着工戸数が緩やかに回復傾向にある中、主力ノウハウ商品販売は順調に伸長しました。また、ノウハウ商品のフォローアップ研修を充実させる中、会員工務店もシステム活用により活性化しており、建築部資材の販売、特に会員向け太陽光発電システムの販売がほぼ計画通りに推移しましたが、人員を投入し販売促進に継続して注力しており、収益の貢献には至っておりません。

以上により、売上高2,065百万円（前年同期比47.1%増）、営業利益162百万円（同29.3%減）となりました。

<住宅事業>

当期においても、東日本地域における工期の遅れを懸念しておりましたが、業務効率の見直し等により引渡しが順調に進み、復興需要による受注増も相まって、売上高は17,877百万円（前年同期比29.1%増）となりました。損益面では、積極的な出店展開も既存店の収益体制で賄い、営業利益602百万円（前年同期営業損失34百万円）と大幅に改善しました。受注状況につきましては、当四半期末における受注残が1,434棟（前年同期1,420棟）となっております。

当四半期において、高崎店・名古屋南店・岡山店・春日部展示場・熊谷展示場・平塚展示場・秦野展示場・沼津展示場・西尾展示場・延岡展示場の開設を行いました。これにより店舗数は、44支店24展示場となりました。

今後も積極的な出店を推し進めますが、消費税増税による消費動向などを注視しながら、既存店のリロケーション、統廃合にも着手してまいります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産総額は、27,465百万円となり、現預金の増加、住宅事業における未成工事支出金等たな卸資産の増加により主に流動資産が増加し、前連結会計年度末に比べ1,647百万円増加しました。

負債総額は、15,715百万円となり、主として、住宅事業における未成工事受入金の増加により前連結会計年度末に比べ1,386百万円増加しました。

純資産は、11,750百万円となり、四半期純利益401百万円計上等により利益剰余金が増加し、前連結会計年度末に比べ261百万円増加しました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金という」）残高は、前連結会計年度末に比べ54百万円増加し5,895百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得た資金は、1,220百万円（前年同四半期は2,324百万円の収入）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益803百万円に加え、未成工事受入金の増加2,274百万円、減価償却費431百万円等による資金の増加と、棚卸資産の増加671百万円、法人税等の支払985百万円等による資金の減少があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、886百万円（前年同四半期は1,084百万円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出578百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は、280百万円（前年同四半期は232百万円の支出）となりました。これは主に長・短期借入金の減少58百万円、配当金の支払221百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績は、ほぼ期初計画の範囲内で推移しており、現時点におきましては、平成24年5月11日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,904,150	5,908,170
受取手形及び売掛金	3,048,936	2,801,458
商品及び製品	1,822,371	1,414,917
未成工事支出金	1,252,081	2,325,993
原材料及び貯蔵品	61,278	66,445
その他	2,023,761	2,568,331
貸倒引当金	△158,132	△134,374
流動資産合計	13,954,448	14,950,942
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,812,358	5,221,951
土地	2,319,873	2,354,303
その他(純額)	880,063	887,847
有形固定資産合計	8,012,295	8,464,102
無形固定資産		
のれん	471,129	455,246
その他	170,436	192,303
無形固定資産合計	641,566	647,549
投資その他の資産		
差入保証金	2,267,384	2,286,288
その他	1,219,863	1,562,159
貸倒引当金	△278,037	△445,600
投資その他の資産合計	3,209,210	3,402,848
固定資産合計	11,863,071	12,514,499
資産合計	25,817,519	27,465,442

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,789,391	3,640,832
短期借入金	1,159,105	836,154
未払法人税等	1,036,117	393,140
未成工事受入金	2,909,377	5,183,668
賞与引当金	732,120	671,980
引当金	268,863	305,927
その他	2,905,180	2,625,408
流動負債合計	12,800,155	13,657,111
固定負債		
長期借入金	497,450	761,576
資産除去債務	529,600	614,786
その他	501,293	681,859
固定負債合計	1,528,344	2,058,221
負債合計	14,328,500	15,715,333
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,000,000	4,000,000
資本剰余金	867,170	889,343
利益剰余金	8,976,596	9,152,885
自己株式	△1,519,717	△1,476,493
株主資本合計	12,324,049	12,565,734
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,081	50,297
繰延ヘッジ損益	1,207	393
土地再評価差額金	△866,318	△866,318
その他の包括利益累計額合計	△835,029	△815,626
純資産合計	11,489,019	11,750,108
負債純資産合計	25,817,519	27,465,442

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	27,407,836	32,785,564
売上原価	16,349,113	20,390,956
売上総利益	11,058,723	12,394,607
販売費及び一般管理費	10,371,221	11,086,919
営業利益	687,501	1,307,688
営業外収益		
受取利息	7,125	7,530
受取配当金	9,814	10,424
受取地代家賃	5,287	2,982
受取手数料	7,593	7,214
その他	19,263	22,190
営業外収益合計	49,083	50,342
営業外費用		
支払利息	23,579	18,430
減価償却費	5,405	6
為替差損	34,486	12,121
その他	13,598	16,207
営業外費用合計	77,070	46,765
経常利益	659,514	1,311,265
特別利益		
固定資産売却益	1,933	—
特別利益合計	1,933	—
特別損失		
固定資産処分損	2,780	8,190
創業者功労金	—	500,000
特別損失合計	2,780	508,190
税金等調整前四半期純利益	658,667	803,075
法人税、住民税及び事業税	370,530	361,182
法人税等調整額	1,003	40,310
法人税等合計	371,533	401,492
少数株主損益調整前四半期純利益	287,133	401,582
四半期純利益	287,133	401,582

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	287,133	401,582
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△15,097	20,216
繰延ヘッジ損益	△5,029	△813
その他の包括利益合計	△20,127	19,403
四半期包括利益	267,005	420,985
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	267,005	420,985
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	658,667	803,075
減価償却費	391,442	431,271
のれん償却額	21,549	96,448
固定資産処分損益(△は益)	2,780	8,190
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	—	1,710
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△45,718	143,804
賞与引当金の増減額(△は減少)	94,665	△60,140
受取利息及び受取配当金	△16,939	△17,954
支払利息	23,579	18,430
有形固定資産売却損益(△は益)	△1,933	—
売上債権の増減額(△は増加)	△481,384	247,478
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,239,906	△671,624
立替金の増減額(△は増加)	△52,687	△533,281
仕入債務の増減額(△は減少)	1,315,062	△148,559
未成工事受入金の増減額(△は減少)	2,853,872	2,274,292
未払金の増減額(△は減少)	116,600	△197,768
未払消費税等の増減額(△は減少)	△104,522	△79,982
その他	62,026	△108,923
小計	2,597,154	2,206,467
利息及び配当金の受取額	17,516	17,968
利息の支払額	△20,548	△18,626
法人税等の支払額	△269,418	△985,211
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,324,704	1,220,598
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△63,000	△13,000
定期預金の払戻による収入	63,000	213,000
有形固定資産の取得による支出	△970,136	△578,873
有形固定資産の売却による収入	29,929	—
無形固定資産の取得による支出	△12,405	△151,030
投資有価証券の取得による支出	△9,679	△100,000
貸付けによる支出	—	△150,000
差入保証金の差入による支出	△127,158	△52,338
その他	4,578	△53,769
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,084,871	△886,010
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	304,464	△284,625
長期借入れによる収入	—	700,000
長期借入金の返済による支出	△389,000	△474,200
自己株式の取得による支出	△79	△296
配当金の支払額	△195,335	△221,087
その他	47,292	△360
財務活動によるキャッシュ・フロー	△232,658	△280,568
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,007,175	54,020
現金及び現金同等物の期首残高	2,905,787	5,841,150
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,912,962	5,895,170

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリクラ事業	レンタル事業	建築コンサル テイング事業	住宅事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,737,334	5,419,126	1,404,044	13,847,331	27,407,836	—	27,407,836
セグメント間の内部 売上高又は振替高	137	114	—	—	251	△251	—
計	6,737,472	5,419,240	1,404,044	13,847,331	27,408,087	△251	27,407,836
セグメント利益又は損失 (△)	352,601	658,347	230,080	△34,327	1,206,701	△519,199	687,501

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△519,199千円には、セグメント間取引消去・その他調整額56,548千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△575,748千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリクラ事業	レンタル事業	建築コンサル テイング事業	住宅事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,937,781	5,904,576	2,065,505	17,877,700	32,785,564	—	32,785,564
セグメント間の内部 売上高又は振替高	129	3,347	—	—	3,476	△3,476	—
計	6,937,910	5,907,924	2,065,505	17,877,700	32,789,041	△3,476	32,785,564
セグメント利益又は損失 (△)	353,285	712,780	162,646	602,718	1,831,431	△523,743	1,307,688

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△523,743千円には、セグメント間取引消去・その他調整額65,035千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△588,778千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(7) 重要な後発事象

当社は、平成24年11月9日開催の取締役会において、新工場の建設について決議いたしました。詳細につきましては、平成24年11月9日に公表しております「新工場建設に関するお知らせ」をご参照下さい。

4. 補足情報

受注の状況

セグメントの名称	受注高 (千円)		受注残高 (千円)	
	前第2四半期 平成23年4月1日～ 平成23年9月30日	当第2四半期 平成24年4月1日～ 平成24年9月30日	前第2四半期 平成23年9月30日現在	当第2四半期 平成24年9月30日現在
住宅事業	21,431,889	22,130,009	23,000,134	24,321,415